

寺子屋ふれあい通信



第五号
2016・12・15
発行 稲門寺子屋西東京
題字 金子正男



都立高校を語ろう

副理事長 山本孝之

(ある進路指導担当先生の午後)

秋の午後。教務室の高窓には、朝雲がゆっくり流れています。あの朱夏しゅうかの灼熱しやくねつから、解放おほあぐひされ大欠伸おほあぐひをしていたら、「父兄の皆様です」と言う声と同時に、四人のお母様がお揃いです。

Aさん「実は今日まいりましたのは、都立高校の仕組みや入試がどうなっているかを知りたいです」

私「そうですね。中学生のお母さんがたの一番知りたいことですよ」

Bさん「ウチの子は、お料理が好きで、将来は調理師の免許を取って、お店を開いてみたいと言っているのです」

Cさん「私のところは、パパも息子も野球が大好きで、中学の夏までクラブ野

球で練習しておりました。高校生になっても野球は続けていきたいと言っています。将来は大学受験も考えております。

Dさん「大学はできたら、国公立の有名校を目指してほしいと思っています。数学だけが得意科目ですが、適切な高校ってあるんでしょうか」

私「近年、都立高校は子どもたちのいろいろな要望に応えるため、多種多様な高校・コース・入試方法を用意しています。しかも学区制を撤廃し、一人が一校を自由に受験できるのです」

Aさん「お隣の子どもさんは、不登校気味でしたが、今は、楽しそうに高校に通っているようです」

私「そういう子どもさんのための高校があります。何らかの理由により中学校で、十分学習できなかった子どものために『エンカレッジスクール』とか『チャレンジスクール』があるのです。チャンスの救済校といえるもので、中学の基礎学力を練り直し、

学習意欲を育む狙いがあり、高卒資格も与えられます」

Cさん「入試って、どんな方法があるのですか」

私「いい質問ですね。それには

- (1) 一般推薦入試、
- (2) 一般入試(五科目)
- (3) 特別推薦(文化・スポーツ等)

があつて一般推薦入試はクラスの大半の生徒がチャレンジして、そのほとんどが不合格になります。合格すればラッキー、不合格で当たり前。」

Bさん「先生、料理専門高校ってありますか」

私「Bさんの場合、農業高校の『食品科』に進むのがいいと思います。では黒板で都立高校の種類を説明しましょう。」

(下図および、文末の「補足説明」を参照)



●普通科
進学指導重点校
 日比谷・西・戸山
 青山・立川・国立
 八王子東
進学指導推進校
 武蔵野北・調布北
 小金井北・北園
 奥多摩・三田・竹早

一般都立校
 武蔵野北・小金井北
 井草・清瀬・小平
 保谷・田無など多数
 ●中高一貫校
 白鷗・両国・富士
 大泉・武蔵

●単位制
 新宿・国分寺など
 ●総合学科(単位制)
 東久留米総合
 町田総合
 杉並総合など

●専門科
 農業・商業・工業
 芸術・体育・国際
 科学技術など
 ●エンカレッジスクール
 チャレンジスクール
 ●昼夜定時制(単位制)

- 新企画「夏休み自立学習教室」の開催・・・ 2
- 第一回「指導者会議」開催・・・ 3
- 保護者の方から・・・ 3
- 生徒の声
- 「先輩から」・・・ 3
- 「現受講生」・・・ 4
- 寺子屋理事会について 4
- ふれあいカフェ・・・ 4

Aさん「エーッ！こんなに種類があるのですか。ウチの子の志望は、普通科ですが、単位制の新宿高校、国分寺高校は、他どこが違つのですか」

私「普通の高校は『学年制』で、学年ごとに定められた科目と単位を修得しなければなりません。しかし『単位制』は、三年間に自分の好きな科目を選び、単位を修得すればいいのです。Dさんの数学大好きのお子さんにピッタリのコースだと思えます」

Dさん「でも、新宿や国分寺高校ともなると入試偏差値67前後ですよ。それは少し」

私「面倒見のいい、受験型私立校なども視野に入れておくのもいいと思います。またCさんの野球と勉強の両立を図りながら、頑張るスタイルとして、清瀬高校とか小平高校などどうでしょうか。スポーツ特別推薦でチャレンジする場合、推薦書類のほかに、活動の実績を証明するもの、自己PRカードに加えて、実技テストもありそうです。一般受験のチャンスもあります」

Aさん「聞くところによると、2020年度より、大学入試がガリリと変わるそうです。グローバル化に備えて、どんなふうに変化するのでしょうか」

私「使える英語力」が本格化します。中学校・高校の英語授業は、すべて英語で行うことになっていきます。大学受験票にはトリーック(TOEIC)、英検などの得点とか合格級を記入するようになります。最大な変化は『知識の記憶』型から『思考力、判断力』を重視する傾向になると言われます。論文重視策の良さは、だれでも認められるのですが、どのような基準で、だれが採点するのかが明確になっていません」

Dさん「先ほど、私学も視

野にするというアドバースを頂きましたが、ウチでは4人きょうだいの長男で、経済的に都立高校しか受験できません。現在の就学支援金制度についてお聞かせください」

私「あつ、そうでした。重要なポイントですね。まず、支給対象の条件は、家庭年収では、910万円が上限です。①国立高校・公立全日制が月額9,600円、定時制で2,700円、通信制520円、②私立高校・高等専門学校の場合、9,900円が支給されます。単位制の場合は、単位数に応じて支給額が異なるようですね。

また、都道府県ごとに授業料を軽減する制度もあり、若者を育てるシステムができてきあがり始めています」

ABCさん「よくわかりました。本日はどうもありがとうございました。お母様がお帰りの後、高窓には真赤な夕焼け雲が浮かぶ。明日も晴天だな。

〈補足説明〉

①一般推薦入試は調査書(内申・特記事項)と集団討論(5〜7人グループで、30分程度)個別面談・作文の結果を得点化して合

否を決める。

②進学指導重点校とは都立高校トップ校。偏差値70前後の学力。

③都立高校の総合学科とは、大学進学するのか専門学校、就職にするのか、まだ決められない生徒にピッタリのコースです。進路について、「考える時間」をもてる高校。単位制です。(清瀬・小平高校は一般都立校)。

④大学入試改革(2020年)は文部科学省ホームページ「高大接続改革の進捗について」をご覧ください。



新企画「夏休み自立学習教室」の開催

理事・指導者 竹森英次

本年度は、昨年度まで実施していた、時間と場所を提供して各自自由に勉強を行う

という形態の「オープン教室」から変更し、苦手な箇所の克服を目的にした「夏休み自立学習教室」を実施しました。

算数・数学、英語に限りましたが、より積極的な取り組み(特訓)としました。

開催は、夏休みの終わりの8月25日〜8月31日(28日は休み)、各日1時間、田無福祉総合センターで行いました。

参加した生徒は、数学が13名、英語が7名でした。そして10名の先生方に協力いただきました。

初日と最終日に同じテストを行い、特訓の効果を測定

まず、初日にテストを行い、苦手な箇所を把握しました。その後、苦手な箇所を重点的に、特訓を行いました。教材は、寺子屋が用意した、演習問題と解説付きの解答を用意しました。

進め方としては次のよう

①自分の苦手な箇所の演習問題を行う。

②自分で答え合わせを行う。

③間違ったところを解説書で、「どうして間違えたのだろう」、「どうやったら間

違いをしなくてすんだらう」と考えてもらう。

先生方には、すぐ解答を教えるのではなく、生徒が間違いに対してどのように考えたかを確認しながら、教えてもらうことにしました。

そうすることによって、自立して学習するやり方を身に付けてもらうようにしました。

特訓の効果は大きい

最終日に初日と同じテストを行いました。ほとんどの生徒が初回やったテストより良い点を取っていました。「やればできる」という実感を持ってもらったと思います。

寺子屋では、来年度もより充実した「自立学習教室」を行うべく検討してまいります。



第一回「指導者会議」開催

理事・指導者 竹森英次
9月に、第一回の「指導者会議」が開催されました。

会議では、寺子屋理事と22名の先生方(内4名は理事兼任)で、「寺子屋をよりよいものにするにはどのようなことにしたら良いか」について、協議しました。

事前に、各先生方には、①教えるにあたっての基本的な考え方、種々行っている授業方法

②受け持っている生徒の状況(出席状況、勉強に対する取組姿勢、学力状況)、および抱えている課題

の資料を作成いただき、会議で報告していただきました。その報告をもとに、各先生

の、授業で行っているやり方工夫している点、また、困っている点等参加者全員が理解しあい、対応策などについて話し合いました。非常に有意義な会議だったと思っております。

今後この指導者会議は、年度2回行うことにしました。次回年度末の二回目では、

今回先生方に作成いただいた資料(前述①②)に基づき、その後の授業状況を確認し

ていただきます。そして、次年度以降に活かしていただきたいと考えています。

これらにより、より良い寺子屋を目指して行きたいと思えます。

保護者の方から

◆保護者Oさん◆

【生徒 小五男二名 算数】
少人数で一人一人に向き合って下さり、本当にありがたい。先生方に感謝しております。

最近では、毎日の課題を出して下さっているため、勉強をするという習慣がついてきているように思います。

子どもも嫌がることなく通っているの、先生との関係も良好なのだろうと安心しております。

これからもうぞろぞろしくお願いいたします。

◆保護者Sさん◆

【生徒 小五女 算数】

(1)寺子屋をどのように入っていますか?

週に一回定期的に勉強し、学習に取り組む習慣がつく。

(2)寺子屋に期待していること

学習に対して興味を持つこと。

(3)その他

来年は大学受験、高校受験を迎える姉達がいるため、三女に金銭的理由のため学習面での費用が回せませんが、寺子屋は大変ありがたい場でありたい。

「やらされる」のではなく学習に興味を持って自ら進んで学ぶ姿勢がついてほしいと思っております。

スタッフの皆様のご尽力に感謝しております。



生徒の声

《先輩から》

【現在 高校一年 男子
寺子屋受講】

小五：国語、小六：算数、
中一：数学、中二：数学、
中三：数学、英語

(1)土曜日に、朝9時より遅く到着してしまっ、先生によく叱られたこと。

(2)先生がいつでも全力で接してくれること。

(3)家から寺子屋の場所が遠いこと。

(5)演劇部。みんなで一緒に楽しんで、笑って劇を作ることが楽しい。台詞も、機材の操作の仕方、おぼえる量が多すぎて大変。

(6)職業とかじゃないけれど「不自由なく暮らす人」

(7)部活。

(8)進路、高校からは、一年の時から進路を決めな

いといけないから大変。

(9)きちんと自分の将来の夢を決めておこう。そうすれば、自ずと何をどのくらい勉強すればいいか、分かってくるから。自分の決めたゴールに達成できた時は、何にも替えられない喜びがあるよ！

【現在 高校一年 女子
寺子屋受講】

中二、三：英語

(1)ハロウィンとクリスマスの授業。

(2)ドリルをくれる。

(4)無料なのにしっかりとしているね。

(5)テニス。

(6)空港事務、観光業、美容師

(7)友達とあそぶこと。

(8)勉強が難しい、授業がはやい。

(9)英検、漢検の取得をしておいたほうがいい。



授業風景 「英語」
ハロウィンをテーマに

- (1) 寺子屋に通っていたころの思い出
- (2) 寺子屋で「いいなあ」と思ったこと
- (3) 寺子屋で「やだなあ」と思ったこと
- (4) 寺子屋について、お家の人が言っていたこと
- (5) どんな部活をしていますか?
楽しいことは? 大変なことは?
- (6) 大きくなったら、なにになりたいですか
- (7) 今一番楽しいこと
- (8) 今こまっていること
- (9) 現在寺子屋塾に通っている後輩へのメッセージ
- (10) その他 どんなことでも

《現受講生》

◆生徒 小五男子 算数◆

- (1) 無料でいいと思う。
- (2) 問題集などが無料でもらえる。

(6) スポーツレクリエーション 遊びが楽しい 大変なことなし

(7) 決めていない。

(8) 音楽会の練習。

(10) 宿題が大変。

◆生徒 小五男子 算数◆

- (1) 無料でいいと思う。先生が親切に教えてくれるのでいいと思う。
- (2) 問題集などが無料でもらえる。

(6) 卓球 楽しいこと：大会みたいのがあって試合もやる 大変なことなし

(7) 〈仮〉薬剤師

(8) 近くの卓球場で卓球をする(じ)。

(10) 宿題が大変。

◆生徒 小五女子 算数◆

(1) 勉強が好きになる。

(2) わからない問題を詳しく教えてくれる。

(6) バスケをやっている。試合に勝ったりシールドを決めたりするのが楽しい。

(7) バスケの選手

(8) 本を読むこと。



授業風景 [数学]
手作り教材も使用して

- (1) 寺子屋をどのように思っていますか？
- (2) 寺子屋で「いいなあ」と思うこと
- (3) 寺子屋で「やだなあ」と思うこと
- (4) 寺子屋について、お家の人が言っていること
- (5) 寺子屋の先生にお願いしたいこと
- (6) どんなクラブ、部活をしていますか？
楽しいことは？ 大変なことは？
- (7) 大きくなったら、なにになりたいですか
- (8) 今一番楽しいこと
- (9) 今こまっていること
- (10) その他 どんなことでも

(10)一言「これからも勉強をたくさん教えて下さい。これからもよろしくお願いします。」

寺子屋理事会について

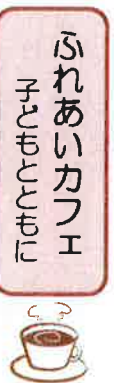
寺子屋では通常、月一回の理事会を開催しています。

理事会では、年度の方針、計画、生徒の募集、カリキュラム編成、授業の進め方、運営上の課題、予算等について協議しています。

理事の中には四名の指導者もいて、実際の指導に基づく課題も把握し、協議しています。



理事会の様子



ふれあいカフェ
子どもとともに

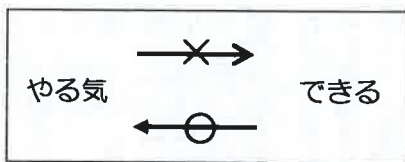
編集委員 高橋薫

ここでは、子育てをする上で、役立つと思われる情報を紹介いたします。

やる気スイッチはどこ？

以下は、NHK「助けて！きわめびと」(2015年4月放送)で、私になるほどと思った内容です。

きわめびと 塾講師
坪田信貴さん(「ピリギャル」指導者)



やる気スイッチを入れるには、

- ① 簡単な問題からやる
- ② できた！(成果が出る)
- ③ もっとやろう！

小さな「できる」の積み重ねが自信や喜びになり、「やる気」につながります。この好循環が「やる気スイッチ」になります。

できる(例：前の学年の問題集をやらせることで)「できる」自信をつけさせます。その時に大事なポイントは、指導する立場の人(お母さん)が、「ちよつとした『できる』」目を向けて、すぐに伝える「こと」で、できない部分ではなく、「できる」目を向けて励ますことで、やる気スイッチは誰にでも入ります。



編集後記

今回も、皆様から貴重な原稿をいただきふれあい通信を発行することができました。ありがとうございます。来年がよい年でありますように！

編集委員
高橋薫
関口和子